

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑫ 公開特許公報(A) 平4-95536

⑬ Int. Cl.⁵B 60 N 3/00
A 47 B 5/00

識別記号

A

庁内整理番号

8915-3K
8815-3K

⑭ 公開 平成4年(1992)3月27日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑮ 発明の名称 自動車用の書見台

⑯ 特 願 平2-211032

⑰ 出 願 平2(1990)8月9日

⑱ 発 明 者 渡 辺 輝 男 神奈川県相模原市陽光台2丁目29号3番地

⑲ 出 願 人 渡 辺 輝 男 神奈川県相模原市陽光台2丁目29号3番地

明 細 書

ものである。

(従来技術)

従来の書見台は、室内用で、床や机の上に置く、
寝台等に取り付け寝転んで読書するものが主だっ
た。この為、都合の良い時に屋外のすばらしい自
然環境に囲まれ、のびのびとした気分で学習する
ことが出来ず、家庭内や近隣騒音に悩まされ、学
習意欲が盛り上がらない場合も多かった。

(実施例)

本発明の実施例を図に基づいて説明する。

第1図は、本案の主要構造裏面図である。

1は書見台で、磁性体の鉄板か、これに木材か
プラスチック等を張り合わせたものである。

3は自動車のハンドル。

2は案内板で、ハンドル3の直径に合わせて多
少平行移動出来る様に、ビス、木ネジ等で書見台
1の裏面に二重の角度を持たせて取付けてある。

角度1：書見台1と案内板2の狭角は70度位
の末広がりになっている。

角度2：案内板2は45～60度位のハの字状

1 発明の名称

自動車用の書見台

2 特許請求の範囲

1) 書見台(1)の裏面に2枚の板を末広
がりに置き、これを更にハの字状に開
いた状態でハンドル(3)の案内板(2)
を設けた自動車用の書見台

2) 書見台(1)と補助板(4)の上部を
蝶番(7)で結び、この開閉角度を固
定するアーム(5)機構を持った自動
車用の書見台

3) 傾斜面でも使える、本(8)のページ
押さえ磁石(9)

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、停車中の自動車のハンドルにセッ
トし、その上で本や事務機器を載せて読書、事務
作業が出来る様にした自動車用の書見台に関する

になっている。

15は書見台1を着脱する場合のハンドル3の位置。

第2図は、ハンドル3に書見台1をセットしても傾斜角度が大きすぎ利用しにくいとき、書見台1上面を水平方向に補正する為のアーム機構図。

4は補助板で、左右に滑り溝穴をあけてある。

5はアームで、書見台1側支点は回転出来る様にしてあり、補助板4側は滑り溝穴とアーム穴にツマミ付きビスを通してナットを取付けてある。

6はハンドル3の軸。

7は蝶番で、補助板4と書見台1との離ぎである。

8は本、9はページ押さえ磁石、10は本8の滑り止め用のゴム磁石、14はメモ用紙。

第3図

11は事務機器(小型携帯用のワードプロセッサ、パーソナルコンピューター等)。

12は吊り金具で、事務機器11の裏面にボンンドで貼り付けられており、補助板4に立てられた

で保持する様にした。この状態で作文、プログラム作成したものをフロッピーディスクに記憶すれば良い。

乗用車などで、ハンドル3の垂直傾斜角度が大きい場合は、第2図のアーム5の左右のツマミを滑り溝穴に沿って手前下方に引き寄せ、適当な角度のところでツマミをいっぱい締め込み、補助板4を固定してから使用する。

取り外すときはアーム5のツマミを緩め上方に滑らせ、書見台1と補助板4が重なったところでツマミを締め込み補助板4を固定し、書見台1を第1図の15の位置まで持ち上げてはす。

(発明の効果)

この発明は、停車中の自動車のハンドルに手軽に着脱できる書見台なので、自動車にこの書見台を組み込めば、好きな時に好きな場所に向き、気分も新たに創作活動や読書、事務作業に励むことが出来る。

4 図面の簡単な説明

第1図は、書見台1の裏面図、およびハンドル

3に吊す。

13は吸着盤で、事務機器11の滑り止めの

つぎに動作と使用法を説明する。

停車中の自動車運転台に腰掛け、書見台1をハンドル3(第1図15の位置)に載せ、少し手前に引くと、二重角度に固定された案内板2の為、ハンドル3の直径面はだんだん締め付けられると同時に書見台1の裏面方向へとくい込み、互いに圧縮された状態でしっかりと保持される。

このとき自動車のハンドル3の垂直傾斜角度の小さい車なら、その状態で本8を広げ、ページ押さえ磁石9を左右に置き、更に滑り止めのゴム磁石10を下方に置くと、両手を放して自由に読書することが出来る。ページめくりをするときは、紙面と磁石9の隙間に軽く、めくったページを差し込むだけで、本8の開いた状態を保持してくれる。

また事務機器11を使用する場合、強力磁力線がフロッピーディスクの記憶内容を消磁する等の悪影響を避けるため、吊り金具12と吸着盤13

3と案内板2の保持状態図。

第2図は、書見台1に補助板4を追加した斜視図、および本8の使用説明図。

第3図は、補助板4に事務機器11を載せた使用説明図。

1は書見台、2は案内板、3はハンドル、15は書見台1を着脱する場合のハンドル3の位置、4は補助板、5はアーム、6はハンドルの軸、7は蝶番、8は本、9はページ押さえ磁石、10は本8の滑り止め用のゴム磁石、14はメモ用紙、11は事務機器、12は吊り金具、13は吸着盤

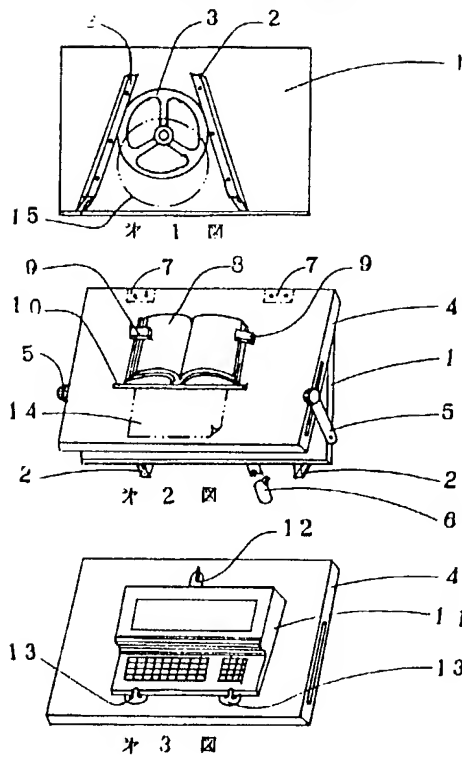
特許出願人

渡辺輝男



平成2年11月20日

図面の修正(内容に変更なし)



特許庁長官

殿



1. 事件の表示 平成2年特許願第211032号
2. 発明の名称 自動車用の書見台
3. 補正をする者
事件との関係 特許出願人
住 所 229 神奈川県相模原市緑光台2丁目29号3番地
氏 名 フジヤマ工業株式会社 渡辺 輝男
4. 補正命令の日付 平成2年10月30日
5. 補正の対象 適正な図面
6. 補正の内容 別紙の通り内容に変更なし

方式 (特許)



⑫ 公開特許公報(A)

平4-95536

⑮ Int.Cl.⁵B 60 N 3/00
A 47 B 5/00

識別記号

A

庁内整理番号

8915-3K
8815-3K

⑬ 公開 平成4年(1992)3月27日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

⑭ 発明の名称 自動車用の書見台

⑯ 特 願 平2-211032

⑰ 出 願 平2(1990)8月9日

⑱ 発 明 者 渡 辺 輝 男 神奈川県相模原市陽光台2丁目29号3番地

⑲ 出 願 人 渡 辺 輝 男 神奈川県相模原市陽光台2丁目29号3番地

明 細 書

ものである。

(従来技術)

従来の書見台は、室内用で、床や机の上に置く、寝台等に取り付け寝転んで読書するものが主だった。この為、都合の良い時に屋外のすばらしい自然環境に囲まれ、のびのびとした気分で学習することが出来ず、家庭内や近隣騒音に悩まされ、学習意欲が盛り上がらない場合も多かった。

(実施例)

本発明の実施例を図に基づいて説明する。

第1図は、本案の主要構造裏面図である。

1は書見台で、磁性体の鉄板か、これに木材かプラスチック等を張り合わせたものである。

3は自動車のハンドル。

2は案内板で、ハンドル3の直径に合わせて多少平行移動出来る様に、ビス、木ネジ等で書見台1の裏面に二重の角度を持たせて取付けてある。

角度1：書見台1と案内板2の挟角は70度位の末広がりになっている。

角度2：案内板2は45～60度位のハの字状

1 発明の名称

自動車用の書見台

2 特許請求の範囲

1) 書見台(1)の裏面に2枚の板を末広がりに置き、これを更にハの字状に開いた状態でハンドル(3)の案内板(2)を設けた自動車用の書見台

2) 書見台(1)と補助板(4)の上部を蝶番(7)で繋ぎ、この開閉角度を固定するアーム(5)機構を持った自動車用の書見台

3) 傾斜面でも使える、本(8)のページ押さえ磁石(9)

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、停車中の自動車のハンドルにセットし、その上で本や事務機器を載せて読書、事務作業が出来る様にした自動車用の書見台に関する

になっている。

15は書見台1を着脱する場合のハンドル3の位置。

第2図は、ハンドル3に書見台1をセットしても傾斜角度が大きすぎ利用しにくいとき、書見台1上面を水平方向に補正する為のアーム機構図。

4は補助板で、左右に滑り溝穴をあけてある。

5はアームで、書見台1側支点は回転出来る様にしてあり、補助板4側は滑り溝穴とアーム穴にツマミ付きビスを通してナットを取付けてある。

6はハンドル3の軸。

7は蝶番で、補助板4と書見台1との継ぎである。

8は本。9はページ押さえ磁石。10は本8の滑り止め用のゴム磁石。14はメモ用紙。

第3図

11は事務機器（小型携帯用のワードプロセッサ、パーソナルコンピューター等）。

12は吊り金具で、事務機器11の裏面にボンドで貼り付けられており、補助板4に立てられた

で保持する様にした。この状態で作文、プログラム作成したものをフロッピーディスクに記憶すれば良い。

乗用車などで、ハンドル3の垂直傾斜角度が大きい場合は、第2図のアーム5の左右のツマミを滑り溝穴に沿って手前下方に引き寄せ、適当な角度のところでツマミをいっぱい締め込み、補助板4を固定してから使用する。

取り外すときはアーム5のツマミを緩め上方に滑らせ、書見台1と補助板4が重なったところでツマミを締め込み補助板4を固定し、書見台1を第1図の15の位置まで持ち上げてはす。

（発明の効果）

この発明は、停車中の自動車のハンドルに手軽に着脱できる書見台なので、自動車にこの書見台を積み込めば、好きな時に好きな場所に出向き、気分も新たに創作活動や読書、事務作業に励むことが出来る。

4 図面の簡単な説明

第1図は、書見台1の裏面図、およびハンドル

ピンに吊す。

13は吸着盤で、事務機器11の滑り止め。

つぎに動作と使用法を説明する。

停車中の自動車運転台に腰掛け、書見台1をハンドル3（第1図15の位置）に載せ、少し手前に引くと、二重角度に固定された案内板2の為、ハンドル3の直径面はだんだん締め付けられると同時に書見台1の裏面方向へとくい込み、互いに圧縮された状態でしっかりと保持される。

このとき自動車のハンドル3の垂直傾斜角度の小さい車なら、その状態で本8を広げ、ページ押さえ磁石9を左右に置き、更に滑り止めのゴム磁石10を下方に置くと、両手を放して自由に読書することが出来る。ページめくりをするときは、紙面と磁石9の隙間に軽く、めくったページを差し込むだけで、本8の開いた状態を保持してくれる。

また事務機器11を使用する場合、強力磁力線がフロッピーディスクの記憶内容を消磁する等の悪影響を避けるため、吊り金具12と吸着盤13

3と案内板2の保持状態図。

第2図は、書見台1に補助板4を追加した斜視図、および本8の使用説明図。

第3図は、補助板4に事務機器11を載せた使用説明図。

1は書見台、2は案内板、3はハンドル、15は書見台1を着脱する場合のハンドル3の位置、4は補助板、5はアーム、6はハンドルの軸、7は蝶番、8は本、9はページ押さえ磁石、10は本8の滑り止め用のゴム磁石、14はメモ用紙、11は事務機器、12は吊り金具、13は吸着盤

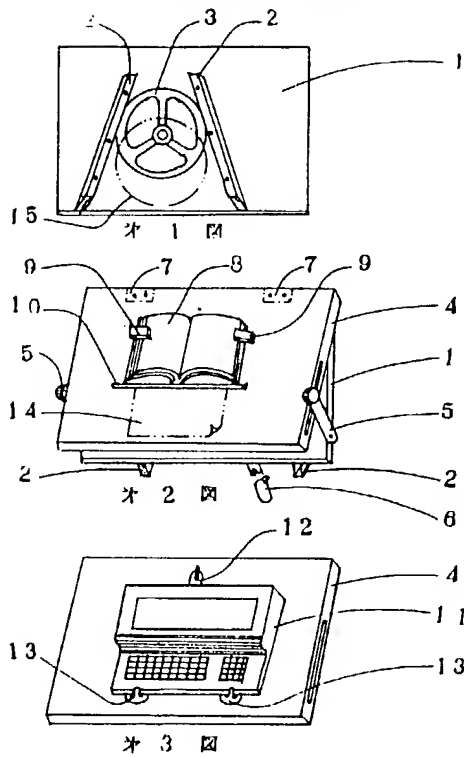
特許出願人

渡辺 理男



平成2年11月20日

図面の修正(内容に変更なし)



特許庁長官

殿



1. 事件の表示 平成2年特許願第211032号
2. 発明の名称 自動車用の書見台
3. 補正をする者
事件との関係 特許出願人
住 所 229 神奈川県相模原市陽光台2丁目29号3番地
氏 名 渡辺輝男 (印)
4. 補正命令の日付 平成2年10月30日
5. 補正の対象 適正な図面
6. 補正の内容 別紙の通り内容に変更なし

方 式 (印)



PAT-NO: JP404095536A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04095536 A
TITLE: BOOKREST FOR AUTOMOBILE
PUBN-DATE: March 27, 1992

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
WATANABE, TERUO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
WATANABE TERUO N/A

APPL-NO: JP02211032
APPL-DATE: August 9, 1990

INT-CL (IPC): B60N003/00, A47B005/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To make reading and office work freely performable in an automobile during stoppage by installing two plates on the backside of a bookrest in a state of being flaringly opened, thereby constituting a guide plate for a steering wheel, while joining the bookrest and an auxiliary plate with a hinge and clamping this opening or closing angle with an arm.

CONSTITUTION: Having a seat on a cab in an automobile during stoppage, a bookrest 1 is mounted on a steering wheel 3, supporting this bookrest 1 supported on the steering wheel 3 by a guide plate 2 being installed on the backside of the bookrest 1 and clamped at a double angle.

Then, a book 8 is opened, each page presser magnet 9 is placed on right and left, and an antislipping rubber magnet 10 is placed beneath, thus reading can be done freely by keeping both hands apart. In addition, when an office apparatus 11 is used, it is held by a hanger 12 and a suction cup 13 in order to avoid such an adverse effect that a line of powerful magnetic force demagnetizes the storage contents of a floppy disk and so on. Moreover, when a vertical tilt angle in the wheelhand 3 of a passenger car or the like is larger enough, an arm 5 is drawn nearer, and an auxiliary plate 4 is locked at a proper angle, and the office apparatus is used.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio